

長崎県子連NEWS

あすをひらく子ども会

長崎県子連ニュース No.42

2019年(令和元年)12月

発行／一般財団法人 長崎県子ども会育成連合会

〒850-0057 長崎市大黒町3番1号 TEL・FAX095-827-4574

URL <http://www.kodomo-kai.or.jp/nagasaki/> e-mail kdm42@axel.ocn.ne.jp

祝 県子連創立 50 周年



長崎県子ども会育成連合会は、多くの子ども会の指導者・育成者ならびに子ども会関係者の皆様に支えられ、2019

年5月27日に創立50周年記念日を迎えました。10月26日には、創立50周年記念式典および祝賀会を、子ども会関係者はじめ各界の皆様にご臨席いただき、盛大に開催できましたことを深く感謝申し上げます。

また、この50年という節目に当たり、これまでの子ども会の歩みを振り返り、「長崎県子ども会育成連合会 創立50周年記念誌」を編集・発行することができました。長崎県知事をはじめ関係の皆様、各種原稿や資料提供にご協力いただきました各方面の皆様に深甚なる敬意と謝意を申し上げます。

長崎県子ども会育成連合会は、創立50周年を機に、過去から現在そして未来へと活動を引き継ぎ、本会ならびに地域社会の発展と、青少年の健全育成に微力ながらも貢献して参りたいと考えております。

今後とも、本会の活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつといたします。

(一財) 長崎県子ども会育成連合会
会長 北御門 長蔵

創立 50 周年記念式典・祝賀会

期日 2019年10月26日(土)

時間 記念式典 13:00～13:45

祝賀会 14:00～16:00

会場 ホテルセントヒル長崎

I 記念式典

1開会のことば

2県子連会長あいさつ

3祝辞

・長崎県知事

・長崎県議会議長

・長崎市長

・全国子ども会会長

4来賓紹介・祝電披露

5県子連表彰式

6閉会のことば

7記念撮影

II 祝賀会

1アトラクション

2開会あいさつ

3祝辞

・九子連会長

4乾杯

・県生涯学習課長

5祝宴

6万歳三唱

・県こども未来課長

7閉会



開会式



式典会場



県子連表彰式



アトラクション(福田地区 幟龍陣太鼓)



記念撮影

2019 年度 長崎県子ども会育成連合会

★ 第1回理事会

★ 評議員会

2019年6月7日（金）、長崎市「えきまえ」いきいきひろばにおいて、長崎県子ども会育成連合会の第1回理事会と評議員会を開催しました。

県教育庁生涯学習課長「山口千樹」様、県こども未来課長「濱野 靖」様にもご来賓として出席いただき、ご祝辞をいただきました。

本年度は、県子連理事・監事の改選ならびに評議員の一部交代があり、下記のとおり決定されました。

県子連理事・監事

役 職	氏 名	選出地区	備考
理事（会 長）	北御門長蔵	諫 早 市	再任
理事（副会長）	久米 直	長 崎 市	再任
理事（副会長）	河内 秀之	佐 世 保 市	再任
理事（副会長）	山下 徳美	島 原 市	再任
理 事	三浦 正二	長 崎 市	再任
理 事	岩永 耕一	平 戸 市	再任
理 事	松下 一徳	長 与 町	再任
理 事	中野 博喜	新上五島町	再任
監 事	吉村 正春	長 崎 市	再任
監 事	里見 浩則	長 崎 市	再任

※ 県子連理事・監事は、全員が前期に引き続き再任されました。会長ならびに副会長も再任となりました。理事・監事の任期は、2019年度から2020年度の2年間です。

専門委員（県子連委嘱）

地 区	専門委員	備考
長 崎 市	水 谷 幸 子	再 任
長 崎 市	牛 津 武 聡	再 任
諫 早 市	平 山 仁	再 任

※ 牛津専門委員については、2019年8月に退任されました。専門委員の任期は2年間です。

顧 問

役 職	氏 名	地 区	備考
顧 問	中島 公彦	長 崎 市	

県子連評議員

選出地区	評議員	(旧評議員)	備考
長 崎 市	谷内 貴代		
佐 世 保 市	小田 寛司		
島 原 市	上田すず子		
諫 早 市	石場加代子		
大 村 市	川竹 成稔		
平 戸 市	西村 悦子	(田口 良祐)	新任
松 浦 市	園田 勝也	(川田 そら)	新任
対 馬 市	春田 新一		
壱 岐 市	山川 拓也	(山口 祐二)	新任
五 島 市	平村 和弘	(畑中 重徳)	新任
西 海 市	荒木 昭満		
雲 仙 市	井上 真	(中島泰二郎)	新任
南 島 原 市	吉田 好伸	(中島 和久)	新任
長 与 町	田中 直登		
時 津 町	山脇 清治		
東 彼 杵 町	木場 香	(長岡 菜月)	新任
川 棚 町	一ノ瀬正章		
小 値 賀 町	江川孝太郎	(吉元 勝信)	新任
佐 々 町	立石 徹		
新上五島町	花田 新助		

※ 南島原市の吉田好伸評議員はその後退任となり、新たに永池裕美子評議員が就任しました。

※ 評議員の任期は、平成29年度から令和2年度末までの4年間となっています。

県子連ジュニア・リーダー研修会 中止

2019年度長崎県子ども会ジュニア・リーダー研修会は、2019年8月10日～12日、新上五島町立海洋青少年の家で実施予定でしたが、直前の二つの台風接近のため中止しました。



楽しみにしていた各市町のジュニア・リーダーの皆さんと、準備を進めてこられた地元新上五島町青少年協ならびに新上五島町教育委員会の皆様には、大変残念な思いとご心配ご迷惑をおかけしましたことを、心からお詫び申し上げます。

2019年度 全国子ども会 ジュニア・リーダー研究集会

本年度、全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会が5年ぶりに再会されました。

長崎県からは、佐世保市子連のジュニア・リーダー2名が参加しました。全国の参加者と交流しながら、ジュニア・リーダーとしての資質を高める研修を深め、これからの子ども会活動に役立つものを得て帰ってきました。

さっそく、来年度の九州大会に取り入れたいという気持ちの表れや、地元佐世保市子連での活動意欲を感じる意見や行動が見られたことはうれしい限りです。

次年度以降も全国ジュニア研究集会に、長崎県のジュニア・リーダーも参加し、全国のジュニア・リーダーとの交流を通して、ジュニア・リーダーとしての技術や能力を向上させ、長崎県のリーダーとして成長してほしいと願っています。



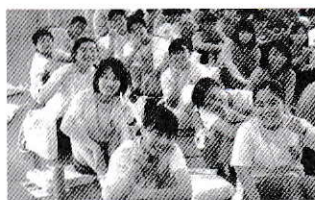
—感想文 抜粋—

【佐世保市ジュニア・リーダー 眞崎 葵】

私はこの研究集会に参加して多くのことを学び、吸収することができました。

この3日間ずっと言われていたことは、「単位子ども会を子どもの手による子ども会に」「経験は大事」「ひとつ上のジュニア・リーダーに」という言葉です。基調講演や基礎学習では、「理想のジュニア・リーダー像」や「理想の子ども会はどのようなものか」ということを聞き、その理想に近づくために私たちは何をすべきなのかということのヒントをもらい、考えることができました。私は3日間の活動を通して、自分が動かないと何も変わらないと感じたり、提案することの大切さや難しさを学んだりすることができました。まだまだ学ばなければいけないことが多いと思いますが、自分なりに考えて行動したいと思います。また、学ぶ機会があったら、次こそは実践することができるまで学びたいと思います。

2019年度 九州地区子ども会 ジュニア・リーダー研修会



本年度の九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会（佐賀県開催）は、九州各県から中高生ジュニア・リーダー200名、指導者約40名の計240名の参加を得て、佐賀県立波戸岬少年自然の家で開催されました。

長崎県からは、県内3地区から10名の中高生のジュニア・リーダーと8名の指導者の計18名が参加しました。

来年度長崎大会開催の意識をもったジュニア・リーダーが事前視察を兼ねた参加態勢を整えての参加でした。

レク中心の大会から、研修中心の大会への変化が見られたことや、佐賀県ジュニアの親切丁寧な運営のやり方を十分学ぶことができたことは大きな成果でした。

班に分かれテーマに従って、活動することで、長崎県のジュニア・リーダーたちは、さらに絆を深めることができ、充実感を味わうとともに、来年度の長崎大会開催への意欲を十分に感じる事ができた大会となりました。

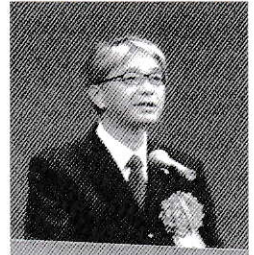
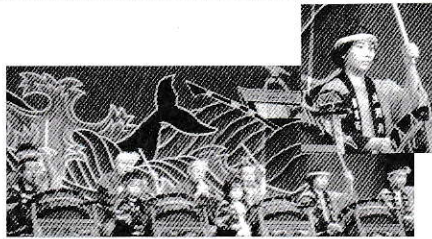


2019年度 長崎県子ども会伝承芸能大会 in 平戸市

昭和54年に始まり本年度で41回目を数える長崎県子ども会伝承芸能大会が、2019年9月8日(日)、平戸市平戸文化センターにおいて開催されました。市内はもとより県内各地から約500名の参観者がありました。開催にあたっては、地元平戸市子ども会育成連絡協議会ならびに平戸市教育委員会の多大なご支援とご協力をいただきました。出演団体には県子連会長から賞状と記念品が贈られました。

いきつきいさなとりうた いきつきいさなとりうた ほぞんかい
生月勇魚捕唄 【生月勇魚捕唄保存会】

生月勇魚捕唄は、生月島を拠点として江戸時代後期に日本最大の規模を誇った鯨組・益富(ますとみ)組の操業の中で唄われた鯨唄の総称です。昭和40年には保存会が結成され、昭和53年には、平戸市の無形民俗文化財に指定されました。捕鯨が行われていた頃は、操業の始まりと終わり、正月などに唄と踊りが披露されていました。



祝辞：長崎県生涯学習課
山口千樹 課長

みやちょうししまい みやちょうししまい ほぞんかい
宮の町獅子舞 【宮の町獅子舞保存会】

宮の町の獅子舞は、大正時代に町内の旅館に宿泊した讃岐の旅芸人が、当時の青年会の若衆に伝授したものとされています。越後獅子の音楽を、三味線、太鼓で演奏しているのが特徴で、下町的な情緒をかもしだしています。

毎年10月、亀岡神社の例大祭の折に奉納踊りとして披露されているほか、地域のイベントなどに出演しています。

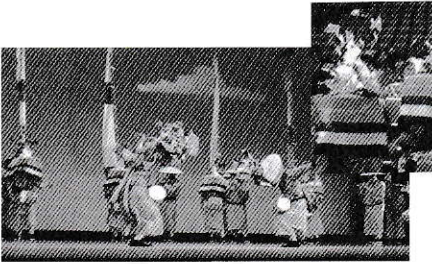


祝辞：平戸市教育委員会
小川茂敏 教育長

ひらど ひらどちくじゃんがら ほぞんかい
平戸のジャンガラ 【平戸地区自安和楽保存会】

平戸のジャンガラは、江戸時代初期に奉納されていた記録がありますが、その起源は定かではありません。近世には平戸藩の手厚い保護を受け、現在は8月に、市内9地区で奉納されています。

「ジャンガラ」という名称は、鐘(かね)と太鼓の音から定着したものといわれており、平成9年に重要無形民俗文化財に指定されました。



記念品贈呈

にほんへい まい おしき まい ひらど かぐら ほぞんかい
二本幣の舞・折敷の舞 【平戸神楽保存会】

平戸神楽は、神職で国学者であった橘三喜が、正保年間(1644～1648)に全国各地の一の宮を巡拝して調査研究を重ね、完成させたと伝えられています。

24番にもなる全神楽は、亀岡神社の秋季例大祭(10月26日)でのみ奉納されており、昭和62年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。



講評：平戸市文化協会
吉居辰美 会長

たすけ ぶし たすけ ぶし ほぞんかい
田助ハイヤ節 【田助ハイヤ節保存会】

田助ハイヤ節は田助地区に伝わる民俗芸能で、「南風(はえ)」が語源ではないかとされています。江戸時代、風待ち潮待ちの港だった田助港で、その船乗りたちが即興的に演奏し歌われたのが始まりとされています。平成20年には、長崎県の無形民俗文化財に指定されました。昭和42年から保存会が結成され、地域の学校でも練習が行われるなど、保存継承が図られています。



閉会挨拶：平戸市子連
岩永耕一 会長

第 53 回 (2019 年度) 全国子ども会中央会議・研究大会 (中国・四国大会)

本年度の全国大会は、2019 年 10 月 4 日 (金)～6 日 (日)、岡山県倉敷市で開催されました。

今大会のテーマは、『「未来の子どもたちのための子ども会活動」～あなたは子ども会の意義を語れますか？語っていますか？～』です。全国から約 700 名が、倉敷美観地区にある会場(倉敷芸文館)に集まり、大会テーマのもと、熱心に研修するとともに、親しく交流を深めました。長崎県からは北御門長蔵会長以下全子連表彰受賞者を含め 4 名が参加し、他県(政令市)子連と交流・親睦・研修を深め、有意義な大会となりました。



開会式



基調講演



全子連表彰受賞者



情報交換会のバンド

大会日程	開催趣旨(全子連)
大会1日目〔10月4日(金)〕 1 開会式(倉敷芸文館) 13:00～ 2 全子連表彰式 13:30～ 3 中国・四国地区子連表彰式 14:40～ 4 基調講演 15:00～ ・演題「今、家庭・家族に必要なもの」 ・講師 森 美智子 氏 青少年健全育成促進アドバイザー 岡山学芸館高等学校 高等部参与 5 受賞者記念撮影 16:30～ 6 受賞者を囲む会・情報交換会 18:00～ (倉敷アイビースクエア) 大会2日目〔10月5日(土)〕 1 分科会(10分科会) 09:00～ 2 映画鑑賞「キセキの葉書」 13:00～ 3 記念講演 14:45～ ・演題「可能性の扉を開けて」 ・講師 映画原作者 脇谷みどり 氏 4 閉会式 16:00～ 大会3日目〔10月6日(日)〕 1 エクスカーション 8:30～ ・選択コースに分かれて研修 (終了後 解散)	テーマ「未来の子どもたちのための子ども会活動」 ～あなたは子ども会の意義を語れますか？ 語っていますか？～ 日本中の子どもたちの成長と幸福のための子ども会活動を理念に掲げ、公益社団法人全国子ども会連合会は活動してきました。 ぶれることのない理念を持ちつつも子どもたちをはじめ私たちを取り巻く環境は、激しく変化してきました。貧しく苦しかった戦後日本の昭和中期に子ども時代を過ごした人は60才を超え、高度成長経済を果たした昭和後期に子ども時代を過ごした人は親の世代になり、平成初期に子ども時代を過ごした人も親の世代として存在してきています。 平成30年に会員数350万人を下回り、さらなる激しい変化が想定される新時代に突入し、単位子ども会は消滅するのか、存在し続けるのか、なぜ単位子ども会は実施するのに連合組織には属したくないのか、理由を考え、連合組織の意義を問い、10年後20年後には耀か晴れやかであって欲しい未来の子ども会の在り方を、「晴れの国おかやま」で考えます。



分科会



分科会



記念講演



大会旗の引き継ぎ

第51回（2019年度）九州地区子ども会育成研究協議会～宮崎大会～

2019年11月30日（土）～12月1日（日）： 宮崎市 JAアズムホール

本年度の九州地区育成研は宮崎県開催で、九州各県から約350名が参加し、熱心な研究協議が行われました。長崎県からの参加者は、九子連表彰受賞者を含め10名でした。

本年度の研究協議会は、分科会方式をとらず、3分散会に分かれて同じテーマで協議し合う形（全員参加型の即答フリック式ディスカッション方式）で進められ、熱心な意見交換で有意義な研修会になりました。



オープニング



JAアズムホール

大会日程

第1日目〔11月30日（土）〕（JAアズムホール）

- ① オープニング「獅子舞（宮崎小学校）」
- ② 開会式・表彰式
 - ・主催者・来賓あいさつ
 - ・九子連表彰
- ③ 協議（3分散会）
 - ・テーマ
「子ども会の原点に立ち返ろう」
～今、私たち育成者にできること～
 - ・進行者
石丸正信（佐賀県） 中村多嘉子（福岡県）
藤崎真由美（鹿児島県）
- ④ 情報交換会（ニューウェルシティ宮崎）
 - ・アトラクション「船引神楽」「日向市ひよっとこ踊り」

第2日目〔11月5日（日）〕（アズムホール）

- ① アトラクション「みやざき犬キャラワン隊」
- ② 講演・演題「コミュニケーションという魔法は世代をつなぐ」
 - ・講師 高橋巨典氏（元アナウンサー）
- ③ 全体会 各部会協議報告
- ④ 大会宣言文提案・採択
- ⑤ 閉会行事
 - ・開催県あいさつ（宮崎県）
 - ・大会旗引継ぎ
 - ・次期開催県あいさつ（佐賀県）



開会式



九子連表彰式



分散会（第一会場）



船引神楽



ひよっとこ踊り



講演 高橋巨典氏



キャラワン隊



全体会（分散会報告）



次回第52回大会（2020年度）は、佐賀県で開催されます。
〔2020年11月14日（土）～11月15日（日）〕

2019年度 県子連・九子連・全子連表彰 受賞者一覧表

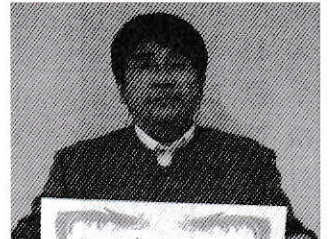
2019年度 全子連表彰

区分	地区	氏 名	団体名 および 役 職 名	活動年数
指導者	諫早市	東 川 和 彦	諫早市子ども会育成連合会 専門指導員 事務局長	41年
	佐世保市	河 内 秀 之	佐世保市子ども会育成 連絡協議会 会長	25年
奨励賞	長崎県	(一財)長崎県子ども会育成連合会		50年

※ 県子連は、創立 50 周年で奨励賞を受賞



東川和彦 様



河内秀之 様

2019年度 九子連表彰

区分	地区	氏 名	団体名 および 役 職 名	活動年数
指導者	長崎市	加藤由美子	長崎市立福田中学校区 青少年協議会 事務局長	23年
		岩本久美子	長崎市青少年育成協議会 広報啓発専門委員	23年
	諫早市	田島一総	諫早市子ども会育成連合会 専門指導員	30年



県子連会長 北御門長蔵 氏

2019年度 県子連表彰

区分	地区	団体名	子ども代表 育成者代表	活動年数
子ども会	川棚町	上 組 郷 育 成 会	元 村 尚 人 元 村 夏 美	68年
		岩 立 子 供 会	貢 渚 紗 貢 春 樹	68年
指導者	対馬市	春 田 新 一	対馬市青少年健全育成 連絡協議会 会長	24年
		永 野 司	長崎市青少年育成協議会 理事	16年
		花野伸一郎	長崎市子ども会育成連合会 専門委員	12年



岩本久美子 様



田島一総 様



春田新一 様



永野 司 様



花野伸一郎 様

令和元年度 市町別加入会員数と加入率

令和元年11月30日現在

市町名	単子数	加入会員数						加入率(%)〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	高校生	指導者 育成者	合 計	未就学児 (0-5歳)	小学生	中学生	小中計
県 計	1,716	3,504	33,975	6,254	319	25,806	69,858	5.6	48.2	17.4	37.8
長 崎 市	226	480	5,326	605	39	2,815	9,265	2.7	26.5	5.9	19.5
佐世保市	254	544	6,647	752	16	4,419	12,378	4.4	48.8	11.2	36.4
島 原 市	137	370	2,286	253	2	2,886	5,797	17.2	98.1	24.2	75.2
諫 早 市	197	418	4,132	879	3	3,348	8,780	6.1	55.0	21.2	43.0
大 村 市	72	172	1,344	182	18	1,261	2,977	2.9	21.5	6.2	16.6
平 戸 市	98	161	1,117	327	5	958	2,568	12.8	75.4	44.0	64.9
松 浦 市	67	123	828	292	15	977	2,235	12.9	68.5	50.3	62.6
対 馬 市	26	11	785	348	0	327	1,471	0.9	52.1	46.9	50.4
壱 岐 市	25	21	978	195	0	218	1,412	1.8	67.1	25.7	52.9
五 島 市	62	97	1,327	211	37	787	2,459	7.3	82.4	24.4	62.1
西 海 市	64	145	1,159	438	32	1,053	2,827	13.3	91.9	77.0	87.3
雲 仙 市	121	296	1,684	400	1	2,016	4,397	16.1	78.5	37.8	65.1
南島原市	154	192	1,806	93	2	1,906	3,999	11.4	85.5	8.2	58.6
市 計	1,503	3,030	29,419	4,975	170	22,971	60,565	5.4	47.0	15.8	36.5
西彼杵郡											
長与町	31	64	991	29	7	311	1,402	2.7	42.2	2.6	29.5
時津町	34	217	1,008	109	2	589	1,925	13.1	56.1	7.6	34.5
東彼杵郡											
東彼杵町	19	21	285	81	0	206	593	7.2	73.6	43.1	63.7
川棚町	33	54	667	359	2	803	1,885	8.9	93.5	77.6	92.0
北松浦郡											
小値賀町	16	28	73	34	16	40	191	36.8	96.1	94.4	95.5
佐々町	24	70	865	312	0	590	1,837	7.7	90.4	72.6	84.9
南松浦郡											
新上五島町	55	20	667	355	122	290	1,454	3.5	93.0	85.1	90.1
郡 計	212	474	4,556	1,279	149	2,829	9,287	6.6	58.3	28.9	47.7
※事務局	1	0	0	0	0	6	6	算出基準の未就学児・児童・生徒数は、 令和元年度長崎県統計による			
合 計	1,716	3,504	33,975	6,254	319	25,806	69,858				

※ 長崎県子連会員数の推移

年度	単子数	加入会員数						加入率(%)〔加入数／児童・生徒数〕			
		未就学児	小学生	中学生	高校生	育成者	合 計	未就学児	小学生	中学生	小中計
元年度	1,716	3,504	33,975	6,254	319	25,806	69,858	5.6%	48.2%	17.4%	37.8%
30年度	1,775	3,559	35,491	6,690	315	26,824	72,879	5.5%	49.8%	18.3%	39.1%
29年度	1,819	3,676	36,710	7,144	357	27,816	75,703	6%	51%	19%	40%
28年度	1,878	3,862	38,683	7,950	438	29,002	79,935	6%	54%	21%	42%
27年度	1,925	3,702	40,118	8,588	433	29,909	82,750	5%	55%	22%	43%
26年度	1,968	2,687	41,375	9,219	476	30,694	84,451	—	56%	23%	44%